

主題	笑顔は口元から
副題	～訪問歯科との連携による口腔ケア向上～

「口腔ケア」

「口腔ケアの技能向上」

研究期間	39 ヶ月	事業所	特別養護老人ホーム ニューフジホーム
発表者：豊田明弘（とよだ あきひろ）		アドバイザー：コンパステナルクリニック	
共同研究者：人見真理子			

電話	042-544-5291	メール	newfuji@douen.jp
FAX	042-546-1729	URL	http://www.d-nfh.jp

今回発表の事業所やサービスの紹介	東京都多摩西部に位置した100人定員の特別養護老人ホームです。昭和56年開設で建物の老朽化が進んでいますが、職員のきめ細やかなケアでカバーしています。
------------------	---

### 《1. 研究前の状況と課題》

ニューフジホームではかねてより口腔ケアの意識が高く、十数年前から歯ブラシの滅菌庫の整備、口腔ケア用うがい薬の使用、毎食後の歯磨きを行っていたが、実際は介護職員の忙しい時間の中での一律的なケアになってしまい、形ばかりの「歯磨き・うがい」になっていた。また、以前にも訪問歯科の導入実績もあったが歯科スタッフとの連携が取れずに長続きしなかったため、新たな訪問歯科診療の導入には躊躇していた。

一方、誤嚥性肺炎を原因とする入院者は増え続け、肺炎で入院する利用者の体力にも負担がかかるため、何とか入院する方を減らすことができないか日々のケアの見直しが課題となっている。

### 《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

平成21年4月に更なる口腔ケアの向上を目指し、訪問歯科を再導入することになった。それにより以下の目標を決める。

○訪問歯科と介護士・看護師の連携を図ることと、

- ・より丁寧なブラッシングを学ぶ。
- ・これまで治療してこなかった利用者の口腔内環境の改善を図る。

○より良いケアをするため、ハード・ソフト面を改善する。

- ・口腔ケアがしやすく、より衛生的な環境整備。
  - ・落ち着いて口腔ケアのできる人員配置
- 上記により、利用者の口腔内環境が改善・清潔保持されていくことが望まれる。また職員の口腔ケアに対する意識の向上を促し、誤嚥性肺炎等の病気の予防につながることを期待される。

### 《3. 具体的な取り組みの内容》

○訪問歯科を再導入する。

平成21年4月から数名の利用者と医師1名、歯科衛生士2名でスタートする。

平成22年4月から対象者を全員とする。

○職員の口腔ケアに対する意識の向上を図る。

- ・居室担当者が治療内容説明書をファイリングし、担当利用者の現状把握をする。
- ・検診結果書を導入する。
- ・平成24年1月より1ヶ月間ケアを集中する利用者を決め個別ケアに取り組む。
- ・歯科衛生士を招いた勉強会を実施する。

○口腔ケア環境を整備する。

- ・各利用者に合った歯ブラシの選定
- ・滅菌庫の設置
- ・紙コップの使用
- ・車椅子用洗面台・鏡の設置
- ・口腔ケア用うがい薬
- ・口腔ケア用保湿剤
- ・口腔ケア用開口パット
- ・スポンジブラシ
- ・昼食時の口腔ケア担当の職員設置

○歯科医と内科医による嚥下内視鏡検査を実施する。

### 《4. 取り組みの結果と考察》

○訪問歯科と連携することで、実際に口腔内環境が改善された。訪問歯科の行う口腔ケア方法に職員が関心を持つようになった。

○平成22年4月より口腔機能維持管理加算開始に伴い、訪問歯科との話し合いを毎月行う。その内容に基づき利用者それぞれに合った個別ケアを作成し、1ヶ月間集中して取り組む。これを行うことにより、職員が歯磨きや舌の磨き方を習得し、技術が向上する等の変化がみられた。

○訪問歯科を再導入する前と後の比較で誤嚥性肺炎の入院者数が減少した。

平成22年度 6名

平成23年度 2名

○個別ケアを行うことで、口腔内環境に特に問題のある利用者に対してのアプローチが新たなケアの発見へとつながった。

- ・マスクによる乾燥防止
- ・重曹水による舌苔除去

○食事に対する希望が多かった A さんに対し、嚥下内視鏡検査を行うことで、A さんの嚥下状況を正確に把握できるとともに、日常の口腔ケアの重要性・口腔リハビリの必要性を職員・A さんとともに実感する。嚥下状況改善のために A さん自身が積極的に口腔ケア・リハビリに取り組むようになった。

### 《5. まとめ》

今回の取り組みにより、個々の利用者にあった丁寧な口腔ケアができるようになった。A さんに関しては A さん自身も自発的に歯磨きをするなどし、歯周病が改善した。今後もより丁寧なケアを続けていき、元気でおいしく食事が摂れるよう支援していく。

### 《6. 倫理的配慮に関する事項》

なお、本研究発表を行うにあたり、ご本人（ご家族）に口頭にて確認をし、本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益を被ることはないことを説明し、回答をもって同意を得たこととした。

### 《8. 提案と発信》

訪問歯科と連携したことが、「口腔内環境が改善されていく・口腔ケア方法を学ぶ・新たなケア方法を発見する」等の変化のきっかけになった。それにより職員や利用者の意識、注目が高まり、さらに技術の向上等の相乗効果が生まれるきっかけとなった。口腔ケアが利用者の健康、食べる楽しみ、明るい笑顔に繋がっていると考えます。

【メモ欄】